

DX戦略策定研修

～経営課題の解決にデジタル技術をどう活かすか～



山口県と(公財)やまぐち産業振興財団では、県内中小企業の持続的な発展に向けて、企業の経営層等がDXに関する全体像や本質を理解し、DX推進、戦略策定へと繋げることができるよう「DX戦略策定研修」を開催します。ぜひご参加ください。

対象

- ・県内に事業所を有する中小企業者
- ・原則として、4日間全ての研修に参加可能な者

持参物

ネット接続可能なパソコン ※演習で使用します。
※会場にWi-Fiを設置します。

概要

全4日(全体研修3日+個別研修1日)の研修

ツールの導入をゴールとするのではない自社にあったデジタル「活用」のために、全体研修での自社分析と課題選定を通して、自社の実情と目的に合わせたデジタル技術の活用戦略を検討し、個別研修にてブラッシュアップします。

同じ内容の研修を日程を変えて行いますので、以下の表を参考に①10月コースと②11月コースのいずれか参加可能なコースを選択してお申し込みください。

内容	STEP 1 自社分析	STEP 2 課題選定	STEP 3 DX戦略立案	STEP 4 ブラッシュアップ
	デジトレ診断や「ありがたい姿整理シート」の作成		「デジタル化マップ」作成とブラッシュアップ	
	全体研修			個別研修
①10月コース	10/26(木) 13:30～17:00	11/8(水) 13:30～17:00	12/6(水) 13:30～17:00	12/7～1/31の 期間中、 2時間程度
②11月コース	11/6(月) 13:30～17:00	11/27(月) 13:30～17:00	12/20(水) 13:30～17:00	12/21～2/28の 期間中、 2時間程度

場所

全体研修:KDDI維新ホール会議室 / 個別研修:対面またはWEB

講師プロフィール

合同会社デジトレ 代表社員 堀 明人氏

情報通信業界で情シス・マーケ・営業と一貫して企画畑を歩む。

米国留学・英国勤務をきっかけに自分らしく生きるライフスタイルに強く共感し独立。以来15年に渡り、ICTベンダーの事業戦略サポート、中小ビジネスのデジタル活用支援、スマート農業の推進など、様々な事業者のビジネス拡大をサポート。

「日本の中小ビジネスのデジタル経営スピードを最速にし、デジタル経営幸福度を最幸にする。」をビジョンに掲げて活動中。



お申込み

<https://bit.ly/44BY70g>



※①10月コースまたは②11月コースのいずれかを選択してお申し込みください。

お問合せ

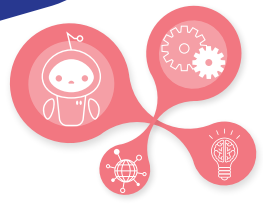
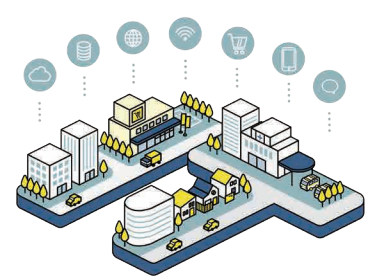


公益財団法人

やまぐち産業振興財団 経営企画部 DX推進コーディネーター

☎ 083-902-3711

DX 戦略 DIGITAL TRANSFORMATION



研修のねらい

技術やサービスの進化で IT 活用が容易になった一方で、IT への過度な期待や自社の目的とのミスマッチから、効果的な活用に課題があります。

本研修では、まず DX の基礎知識と意義、DX 戦略立案の流れを学びます。次に「ありたい姿整理シート」や「デジトレ診断」等のツールを用いた演習を通して、自社分析と課題選定を行います。これらを基に、自社の実情と目的に合わせた DX 戦略を検討し、個別研修にてブラッシュアップしていきます。

支援の流れ

セミナー

9/13 開催

「経営課題の解決にデジタル技術をどう活かすか」

内容 DX の動向と取り組む必要性
中小企業庁「みらデジ経営チェック」
DX 戦略立案の手順と実践までの流れ

狙い 最新の DX 動向把握
他社との比較による自社の状況把握
自社にあったデジタル活用の検討

▼ 今回の募集

研修

10月コース
11月コース

「DX 戦略策定研修」

※同じ内容の研修を日程を変えて 2 回行います。

参加企業にテキストを配布します。
(1社1冊)



STEP 1

自社分析

「ありたい姿整理シート」

項目	現状 (これまでの現状)	少し先に目指される変化 (5年程度)
経営	・ 子ライン性、業務力、職工のスピードを設計事務所として評価されている ・ 輸入向け家庭用乾洗機のカーブ・資料が人気	・ 環境に配慮した新機種の開発、メンテナンス性の向上 ・ 顧客と生産者の関係、自社工場への設備 ・ 労務管理の強化
デジタル化	・ デザインに加工した職工の工場や資料管理、コストダウンが可能な仕組み	・ 顧客や業務効率化する同業他社も考慮する
人材	・ 50歳前後のベテラン職工、30歳と25歳の若手職工 ・ 職工の採用は得意、パート1名 ・ 研修費、福利費は高コストに感じられる	・ 労働力の確保 ・ 外注作業の増加 ・ 教育・研修の充実
その他	・ 事業を拡大するための目標	・ アンタルを定かすポイント
設備	・ 新機種の導入による設備更新、試験やトレーニングができる上での確保 ・ 設備更新とコスト削減に繋がる機種の確保	・ 設備更新の計画 ・ 設備更新の計画共有、まずは自社情報の整理
コスト	・ コスト削減、稼働の最適化、省力化のための設備更新 ・ 稼働率の向上によるコスト削減	・ 稼働率 41、54 ・ 稼働率向上の計画
環境	・ 職工の採用の増加による設備更新 ・ 設備更新による設備更新の計画	・ 稼働率 42、43、50 稼働率 34 ・ 稼働率向上の計画、設備更新による稼働率向上の計画
人材	・ 新機種の導入によるスキル向上、多岐工種 ・ 研修費の削減と高品質な仕事ができる環境を整える	・ 稼働率 2、4、10、13-15 ・ 稼働率向上の計画、設備更新による稼働率向上の計画

内部環境、外部環境のこれから 5 年程度の变化に対応して、経営のありたい姿とそれを実現するための必達目標、デジタル技術を活かすポイント (DX のテーマ) を整理。なぜデジタル技術を活用するのか、DX に取り組むのか、その位置づけを可視化する。

STEP 3

DX 戦略立案

「デジタル化マップ」

顧客・商品・販路	業務プロセス
<p>Play/Decode</p> <p>・ 専門的スキルと知識と経験による競争力をさらに強化「能力」を高める ・ 職工の採用と研修費の削減 ・ 新機種の導入</p>	<p>Do/Act</p> <p>・ コスト削減、稼働の最適化、省力化のための設備更新 ・ 稼働率向上の計画 ・ 設備更新による稼働率向上の計画</p>
<p>Check/Observe</p> <p>・ 稼働率の向上による設備更新 ・ 設備更新による設備更新の計画</p>	<p>・ 稼働率 41、54 ・ 稼働率向上の計画</p>

DX の基本計画として取組内容を PDCA の視点で整理。現状の課題をどのような活動で解決し、変革・成長につなげていくかスパイラルアップの道筋を描く。これを実現するために、具体的に何を誰がいつ行うのかという行動計画を定義し、スムーズに行動するための手順書として用いる。

オプション研修

DX に必要となる要素の研修

内容 研修参加企業のフェーズやニーズを基に、テーマを選定して研修を実施